

第24回関東実業団対抗テニスリーグ戦 結果報告書

2009.9.17

宇都宮大学教職員

監督:細島美智子

1. 大会概要
- ・日程 平成21年9月4日(金)~5日(土)
 - ・会場 千葉県総合スポーツセンターテニスコート
 - ・主催 関東テニス協会
 - ・主管 千葉県テニス協会
 - ・後援 千葉県教育委員会、千葉県体育協会
 - ・協賛 S R I スポーツ株式会社、株式会社ダンロップスポーツ

2. 試合方法
- ・女子12チームによる3ブロックリーグ戦。
 - ・各ブロックのラウンドロビンにより順位を決定する。
 - ・単2試合、及び複1試合による対抗戦
 - ・単複に重複出場は出来ない。
 - ・3セットマッチ(6ゲームオール時7ポイントタイブレーク)。

3. 出場選手 1. 川島伸子 2. 野澤待子 3. 六本木美紀
4. 森川由美子 5. 細島美智子

4. 試合結果

■第1試合 対 みずほフィナンシャルグループ(東京) : 9月4日(金)
宇大教職員 0-③ みずほフィナンシャルグループ

D	川島伸子	●0-2○	武藤有雅
	細島美智子	(1-6、0-6)	柳田唯衣
S1	六本木美紀	●0-2○	石村仁美
		(4-6、3-6)	
S2	森川由美子	●0-2○	小林真希
		(1-6、0-6)	

■第2試合 対 日本航空(千葉) : 9月4日(金)、9月5日(土)
宇大教職員 0-③ 日本航空

D	森川由美子	●0-2○	中野淳子
	細島美智子	(2-6、3-6)	岡崎 愛
S1	野澤待子	●0-2○	畑中麻衣
		(0-6、0-6)	
S2	六本木美紀	●0-2○	逢坂理恵
		(3-6、1-6)	

■第3試合 対 航空自衛隊入間(埼玉) : 9月5日(土)
宇大教職員 0-③ 航空自衛隊入間

D	細島美智子	●1-2○	山本美季
	川島伸子	(6-2、0-6、2-6)	関 聖美
S1	六本木美紀	●0-2○	佐々木由紀子
		(0-6、0-6)	
S2	森川由美子	●0-2○	中村寛子
		(0-6、1-6)	

5. 所感

■第1試合 対 みずほフィナンシャルグループ（東京）：9月4日(金)

関東実業団対抗テニスリーグ1戦目。対戦相手は、東京代表のみずほフィナンシャルグループ。ダブルスは、どこも攻めるところが無いと思えるほど、強い相手でした。S1は、1セット目に4ゲームまでとれたので、もうひと頑張りすれば、1セットを取ることができたのに大変残念でした。

D 練習の時からストロークの威力に圧倒され、ストローク戦では、勝ち目が無いと思いき、深いロブで相手を翻弄しようと思ったのですが、相手の球威に押されて、アウトになったり、短くなって決められたり、よいところが出ないまま、終わってしまいました。あと3ゲームくらいは取れたように思いますが、ゲームが取れなかったのは、決めるべきところでミスをして、デュースゲームを取れなかったところにあったと思います。一歩前に出られず、守るだけになってしまいました。その点、相手チームはミスもほとんどなく、前後左右に深いボールで決めてきました。アウトボールの判断ミスもあり、これから練習課題にしていきたいと思います。試合後に対戦相手の一選手に伺ったところ、宇都宮出身の方で、ジュニア時代から宇都宮のテニスクラブに通い、力をつけてきたとのことでした。ストローク力の違いを痛感させられました。ダブルスも、やはりストロークが安定していないと勝てないと思いました。

S1 今回の大会のためにサーブの練習に重点をおいてきましたが、本番でのファーストサーブの入る確率が低かったのが反省点です。ラリーが続く中でチャンスが来るのを待ち、決定打を打つことを意識しました。相手の返球ミスもあって、幸い1セット目では4ゲームを取得することができましたが、全体的に詰めが甘く、勝ち急いだことが敗因です。

S2 サーブ・ストローク共にボールが速くて重く、返すことが精一杯でした。コースの打ち分けもしっかりしていたので、自分からまともにポイントを取れたのはほんの2、3回位でしょうか。ミスも多く、何より足が動かなかったので、今後は足腰の筋力や体力をつけていくことが必要だと思いました。

■第2試合 対 日本航空（千葉）：9月4日(金)、9月5日(土)

ダブルスは、1試合目の相手ほど、サーブもストロークも力に差が無かったと思いますが、こちらのミスが多くて、0-5になってから、ゲームを取り返すというゲーム運びになり、もう一押しできなかったのが残念です。

D 前衛が上手なペアとの対戦で甘いロブはみんな確実にスマッシュを決められてしまいました。最後は少し追いつくことができたので初めからもう少し強気に攻めていけば、後半の展開は違ったかもしれません。また、強打ばかりでロブ等の緩急ももう少し加えれば良かったと思います。

S1 サーブもストロークも速くて重い球が来るため、返球するのが精一杯で、返球するとすぐに深いコースに確実に速い球で攻められてしまうという、完敗試合でした。その中でも、サーブレシーブだけで決められないよう、ファースト、セカンドともサーブを積極的に打ち、相手のミスを引き出せたことが少しの慰めになりました。

S2 一発勝負に出ることなくとにかく我慢して打ち返すように心掛けました。最終的には絶対に取れない場所に打ちこまれたり、こちらの甘いボールをスマッシュで決められたりして自分の返球の甘さが負けにつながりました。しかし、この試合ではラリーをつなげるという自分の目標が達成でき、数年前の自分よりも成長したと自負しております。

■第3試合 対 航空自衛隊入間（埼玉）：9月5日(土)

なんと1勝をと思い臨んだ試合でしたが、全敗におわり、とても残念でした。

D 立ち上がりは自分たちのペースで進めることができ、6-2と1セットを取りましたが、2セット目から相手のペースであっさり取られ、3セット目も相手の気迫に負けてしまいました。精神的にもっと強くならなくては、と思いました。フルセットに持ち込んだ時の試合戦略も工夫したいと反省しています。ただ、前日より少しは頑張れたので、今後の練習にも役立てたいと思います。

S1 ミスの少ない確実なプレーをする相手でした。相手は深いところに打ってくるので、なんとか返球はできたものの、前に出てこられて決められるというパターンが多かったです。中にはこちらのチャンスボールもあったにもかかわらず、決め切れずに自滅してしまいました。2試合連続だったこともあり、思い通りに足運びが出来なかった部分もありました。実力はもちろん、体力と精神力の足りなさを痛感させられました。

S2 初日の悔しさをバネにとにかく強気で攻めようと臨みました。得意のフォアで左右に振り分けて、決め球を打ちきることだけに集中しました。ある程度は自分からポイントを取りに行けたと思います。ただ40-0やデュースに持ち込んでからが、取らせてもらえない（あるいはそこで自分のミスが出る）ことが多く、全くスコアに結びつきませんでした。

サービスとバックハンドが良くなれば良い試合になれると思うので、今後の課題にしていきたいと思います。また前後にも相手を振れる練習も必要だと痛感しました。

6. まとめ

今まで、開催県または他県が不参加のためのラッキー枠で二度参加させていただきましたが、今年は、本来の参加資格で出場させていただきました。ただ、県大会で活躍した選手が、所用で出場することができず、大変残念でした。今年は何とか1ポイントを取ること、または、1セットを取ることを目標にしていました。ポイントは取れず、全敗には終わりましたが、なんとかダブルスで1セット取ることができたので、今後につなげていきたいと思います。

関東リーグに2回、ビジネスパルの関東大会に3回、出場させていただいた経験から、ほとんどの選手が、緊張することもなく試合に臨めたと思います。試合の経験が技術的にも精神的にも向上できる要因になりますので、今回の試合経験も大変貴重なものとなりました。特にストロークの安定、ミスの少ないテニスをするのが大切だと痛感しました。この貴重な経験を今後のテニスに活かして行きたいと思います。今年から若い選手も新たに入って、女子部の人数も増えましたので、これからは練習方法を検討し、特にシングルの練習機会を増やせるように調整していきたいと思います。

最後になりましたが、実業団委員会の皆様にはいろいろとご支援いただき、本当にありがとうございました。心より感謝申し上げます。

以上

